

《疑義照会と薬歴管理の実践コーナー》

A. 処方箋チェック・疑義照会

1. 4 回目の注射が 3 週目だった患者

1) 処方箋内容

<処方> A 病院の皮膚科、注射処方箋（院内での投薬）、11 月 2 日

投与経路	製品名	1 回量	回数	実施時間	部位
s. c	ルミセフ皮下注 210 mg シリンジ	1 シリンジ	1 回	11 時	上腕部

2) 患者基礎情報

患者は 35 歳男性。昨年、尋常性乾癬との診断を受けた。先月からルミセフによる治療が開始され、病院にて 1 週間おきに皮下注射を受けていた。投与開始時 (day 0)、1 週後 (day 7)、2 週後 (day 14) とこれまでに 3 回注射を受け、今回 (day 21) が投与開始から数えて 4 回目の注射である。

3) 処方箋チェックのポイント

① 何をチェックする？

ルミセフの用法・用量を確認する。

② 具体的に何が問題か？

通常、成人にはプロダルマブ（遺伝子組換え）として、1 回 210 mg を、初回、1 週後、2 週後に皮下投与し、以降、2 週間の間隔で皮下投与することになっている（したがって、4 回目の投与は前回から 2 週間の間隔をあけることになる）が、前回から 1 週間の間隔で処方されていた。

③ 疑義照会プラクティス

「本日 11 時よりルミセフを皮下注射される予定の患者さんですが、ちょうど 1 週間前に 3 回目の投与を終えています。通常用法・用量では、3 回目の投与以降は 2 週間おきに投与することになっていますので、この患者さんの次回 4 回目の投与は本日ではなく 1 週後となりますが、いかがいたしましょうか？」

4) プレアボイドと処方変更

医師は投与開始後 2 週間は週に 1 度、その後は 2 週に 1 度という投与スケジュールであることを把握していなかったとのことだった。今回の投与は見送られ、次回の投与は 1 週後となった。

5) 処方チェックに必要な情報

<用法及び用量>

通常、成人にはプロダルマブ（遺伝子組換え）として 1 回 210 mg を、初回、1 週後、2 週後に皮下投与し、以降、2 週間の間隔で皮下投与する。

(IF p. 9)

B. 服薬指導・薬歴管理

1. 発熱や咳が長引いて風邪が治らないと訴えた患者

1) 処方箋内容（注射は院内での投薬）

<処方 1> A 病院の皮膚科、11 月 4 日

ドボベツト軟膏	30 g	1 日 1 回	患部に適量塗布
---------	------	---------	---------

<処方 2> A 病院の皮膚科、注射処方箋、11 月 4 日（お薬手帳の記載）

投与経路	製品名	1 回量	回数	実施時間	部位
s. c	ルミセフ皮下注 210 mg シリンジ	1 シリンジ	1 回	15 時	上腕部

2) 患者基礎情報

患者は 42 歳の男性。膿疱性乾癬の治療を行っており、<処方 1>を交付した同日に、院内でルミセフ皮下注による治療が開始されていた<処方 2>。1 週間後、発熱や咳が長引いて風邪が治らないと訴え、薬局に電話をかけてきた。

3) 薬歴管理プラクティス

S Subjective data（主観的情報）

この前注射を打ってもらったんですけど、その後に、風邪を引いてから熱と咳の症状が長引いてずっと治らなくて。なにか注射と関係があるのでしょうか。以前は 1 日ゆっくり体を休めれば回復したんですけど。

O Objective data（客観的情報）

ルミセフによる治療が開始されたところから、風邪をひくと症状が長引くようになった。

A Assessment（評価）

ルミセフによる免疫応答への影響が考えられる。

PA Pharmacist Action（どの様に行動したか）

患者にルミセフを使用すると作用の仕組み上、感染症にかかりやすくなる可能性があることを説明した上で、現段階では注射を継続したほうがよいと考えられることを伝え、感染症にかからないように体調管理に気を配るなど、日常生活での注意点も含めて指導した。万が一、風邪を引いて症状が悪化した場合には速やかに主治医に伝えるように説明した。

P Plan（計画）

- ・経過観察
- ・風邪の予防策などについて患者と話し合い、体調のコントロールについて確認する。

4) 服薬指導に必要な情報

＜重要な基本的注意＞

プロダルマブは、感染のリスクを増大させる可能性がある。そのため、プロダルマブの投与に際しては、十分な観察を行い、感染症の発症や増悪に注意すること。感染の徴候又は症状があらわれた場合には、速やかに担当医に連絡するよう患者に指導すること。また、重篤な感染症が発症した場合には、適切な処置を行うこと。

(＜⑨ 重要な基本的注意にはどのようなものがあるか？＞を参照)

育薬セミナール(株) 2016